

特定保守製品

TOTO

浴室換気暖房乾燥機 (日本国内専用)
TYB212G型/TYB213G型/TYB222G型

■この製品は、平成21年4月1日施行の消費生活用製品安全法(消安法)で指定される「特定保守製品」です。
■製品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
■取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。
■浴室リモコン(別売品)を接続する場合は、浴室換気暖房乾燥機設置の前に必ず浴室リモコン(別売品)専用の設置説明書をご覧ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では製品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

表示	意味	表示	意味
	一般禁止		回転物禁止
	分解禁止		アースを必ず接続せよ
	必ず実行		

	ファンやヒーターに触ったり、物を差し込まない	感電、けが、やけどのおそれがあります。
	内釜式ふろを設置した浴室では使用しない	排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
	温泉水などを引き込んでくる浴室では使用しない	製品が腐食して、漏水や製品が故障するおそれがあります。
	本体を断熱材で覆わない	火災の原因になります。
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない	火災、感電、けがの原因になります。
	電気電線の接続は確実に行う	不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

《工事における注意事項》
 ・電気工事は電気設備技術基準(VEFケーブル)を使用し、確実に接続する。より線は使用しない。
 ・電源コードはφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。より線は使用しない。
 ・圧着端子の接続には、それぞれの端子に合った、JISに定められた専用圧着工具を使用する。
 ・電源ケーブルは確実に接続、固定する。また差し込み不足に注意する。改造は絶対にしない。
 ・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。・ねじ止め時は、インパクトドライバーを使用しない。

《設計・設置上の確認項目》
 ・浴室は湿度が高いため、分電盤に漏電遮断器を設ける。・機器容量にあった専用ブレーカーを取り付ける。
 ・電力会社との契約電力量が不足している場合は、追加工事を行う。

《工事前の確認項目》
 ・電気工事は必ず分電盤の浴室換気暖房乾燥機用ブレーカーを切って行う。・電源電圧を間違えないように注意する。
 ・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。・電源ケーブルなど、機器の配線は、発熱する器具(ダウンライトや浴室換気暖房乾燥機)から離して設置する。
 ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属張りの木造建築に金属ダクトが貫通する場合は、電気的に接続しないように取り付ける。
 ・室内配線はφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。より線は使用しない。接続が不十分だと火災のおそれがあります。

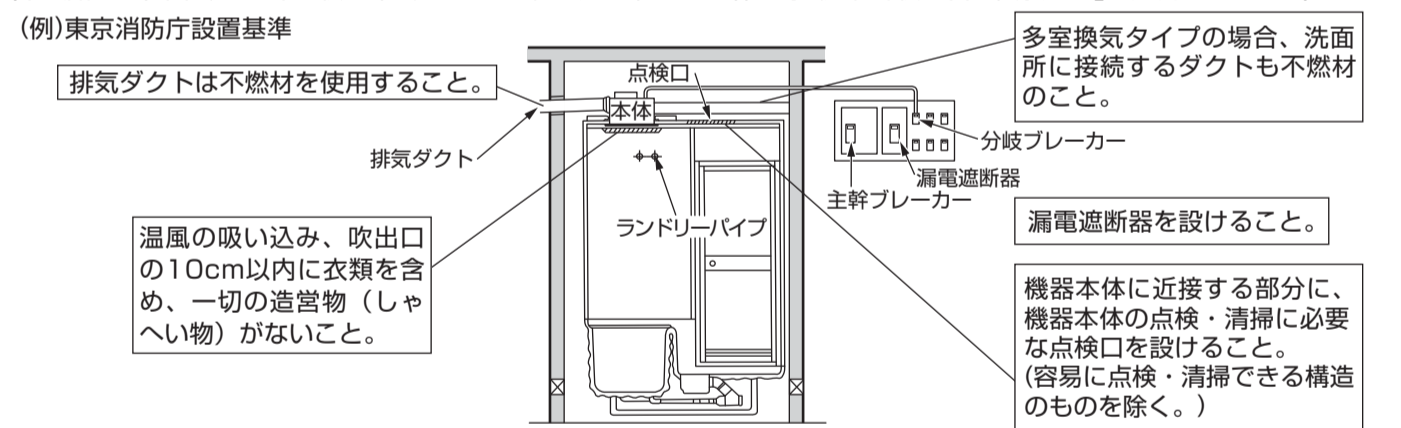
指定する電源以外では使用しない
 [TYB212G/213G型:AC100V] [TYB222G型:単相AC200V] 火災・感電の原因になります。100V品に200Vを印加すると、基板が破損します。

アース(D種接地)工事がされていることをアース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事はお近くの工事店にご依頼してください。

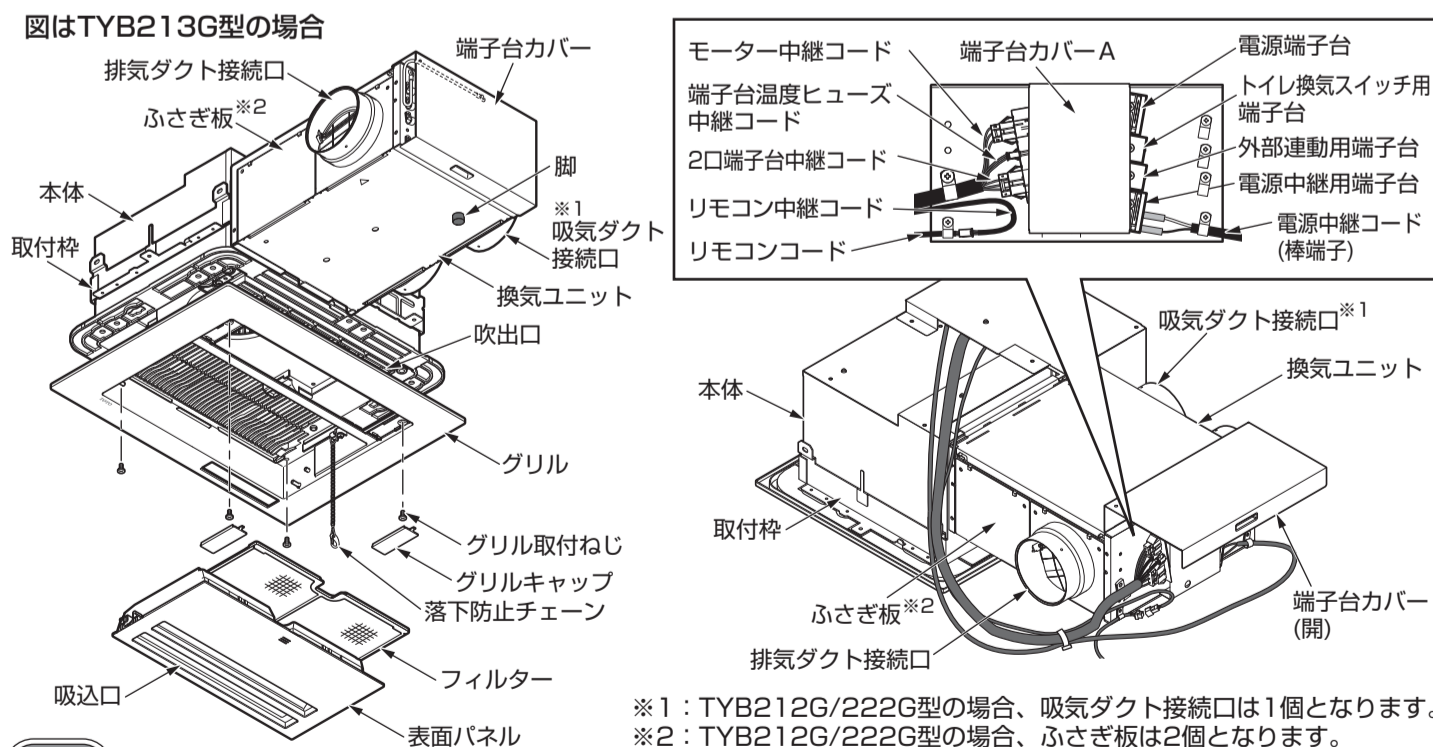
	本体仮止め機構は一時的な固定なので、仮止めのまま放置しない	本体落下による傷害のおそれがあります。
	ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない	ランドリーパイプが過熱し、やけどや衣類が変色するおそれがあります。
	本体を雨漏りなどでぬれる場所に取り付けない	故障の原因になります。
	運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない	回転による傷害のおそれがあります。
	機器の取り付けは、設置説明書に基づいて行う	
	製品質量に耐えるよう施工方法に従って取り付ける	本体落下による傷害のおそれがあります。

2 お願い

●平成14年消防庁告示第1号の基準について
 浴室換気暖房乾燥機の取り付けには、下図のような防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。
 (本製品は、社団法人 日本電機工業会で定める「組み込み形などの浴室用衣類乾燥機の自主試験基準」に適合しています)



3 各部の名称



※1: TYB212G/222G型の場合、吸気ダクト接続口は1個となります。
 ※2: TYB212G/222G型の場合、ふさがり板は2個となります。

4 現場手配品の確認

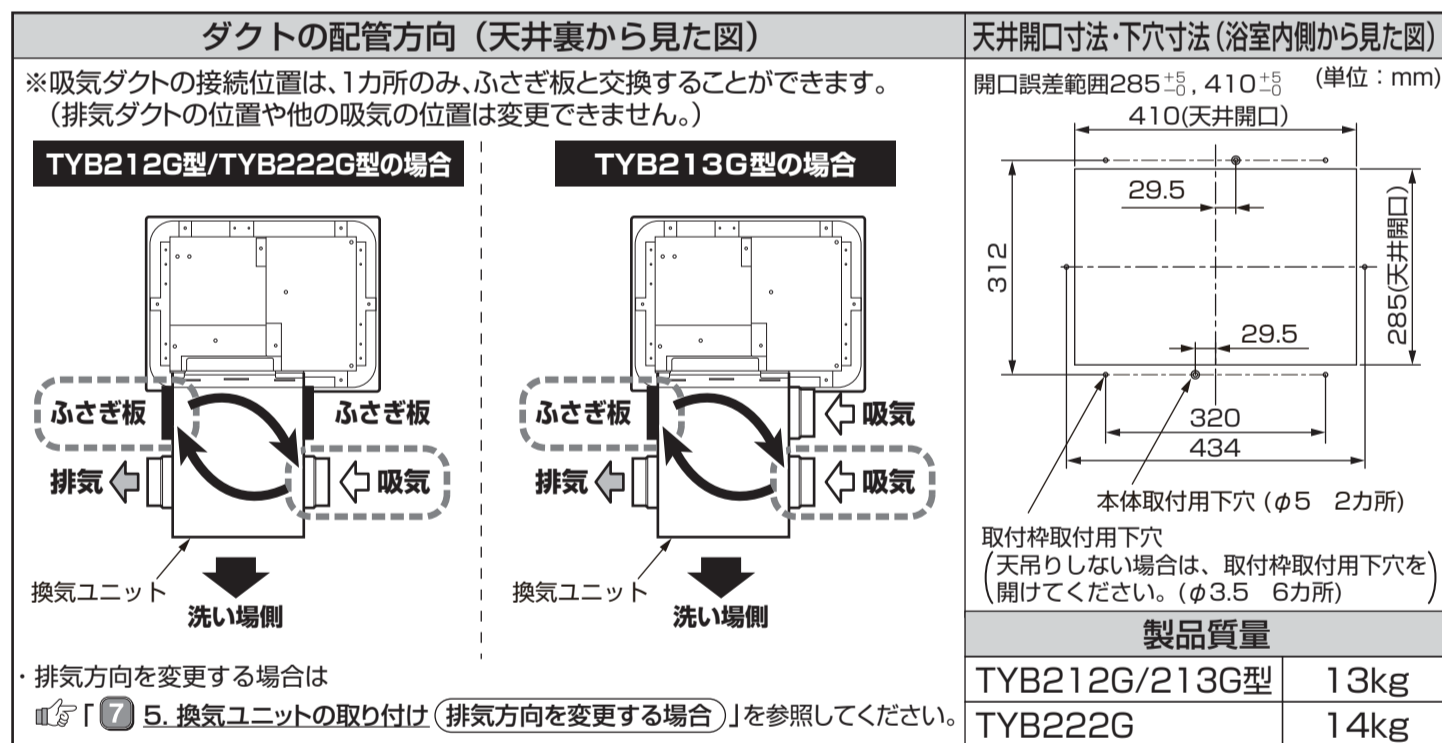
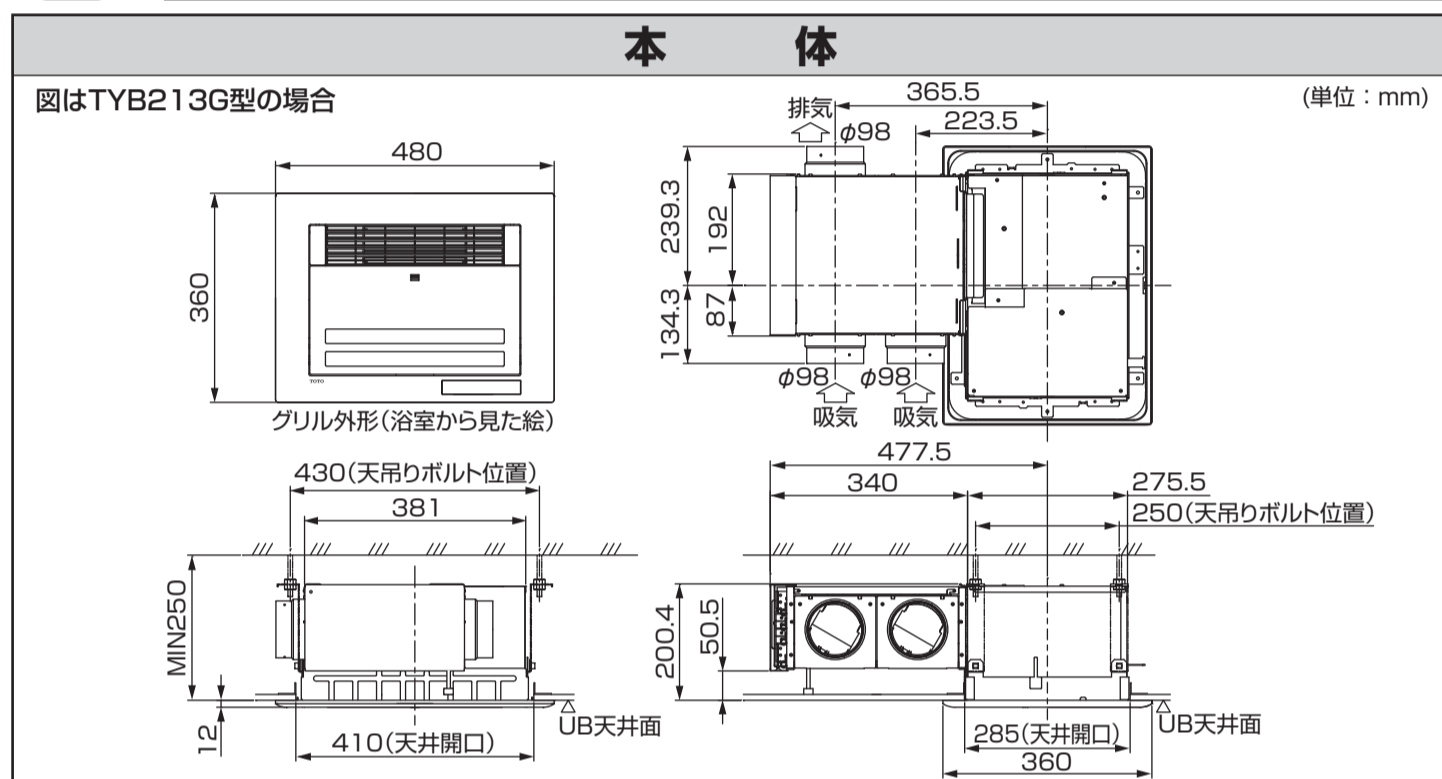
下記部品は現場にて手配してください。

電源用電線	VVFケーブルφ2.0	適量	電気工事用	ベントキャップ	1個	排気用(外壁面取り付け)
アース線	銅線φ1.6以上	適量	アース工事用	吊りボルト	M10または3/8インチ 4本	製品を天井りする場合 ナット12個、ワッシャー8個
アース棒		適量	アース工事用	取付補強材	TOTO品番 TYK570型 1個	製品を直付けする場合
スイッチボックス	2連(標準リモコン用) 3連(照明スイッチ付リモコン用)	1個	リモコン用 リモコン取付用ねじも現場手配 (標準リモコン4本 照明スイッチ付リモコン6本)	トリレ換気スイッチ	1個	トリレ換気スイッチを設ける場合
				浴室照明スイッチ	1個	照明スイッチ付リモコンの場合
				自然給気口	適量	外気取入口
				ランドリーパイプ	浴室寸法による 1本	
				ダクト	φ100 不燃材 適量	吸気・排気用
				アルミテープ	幅50mm(推奨) 適量	ダクト固定用

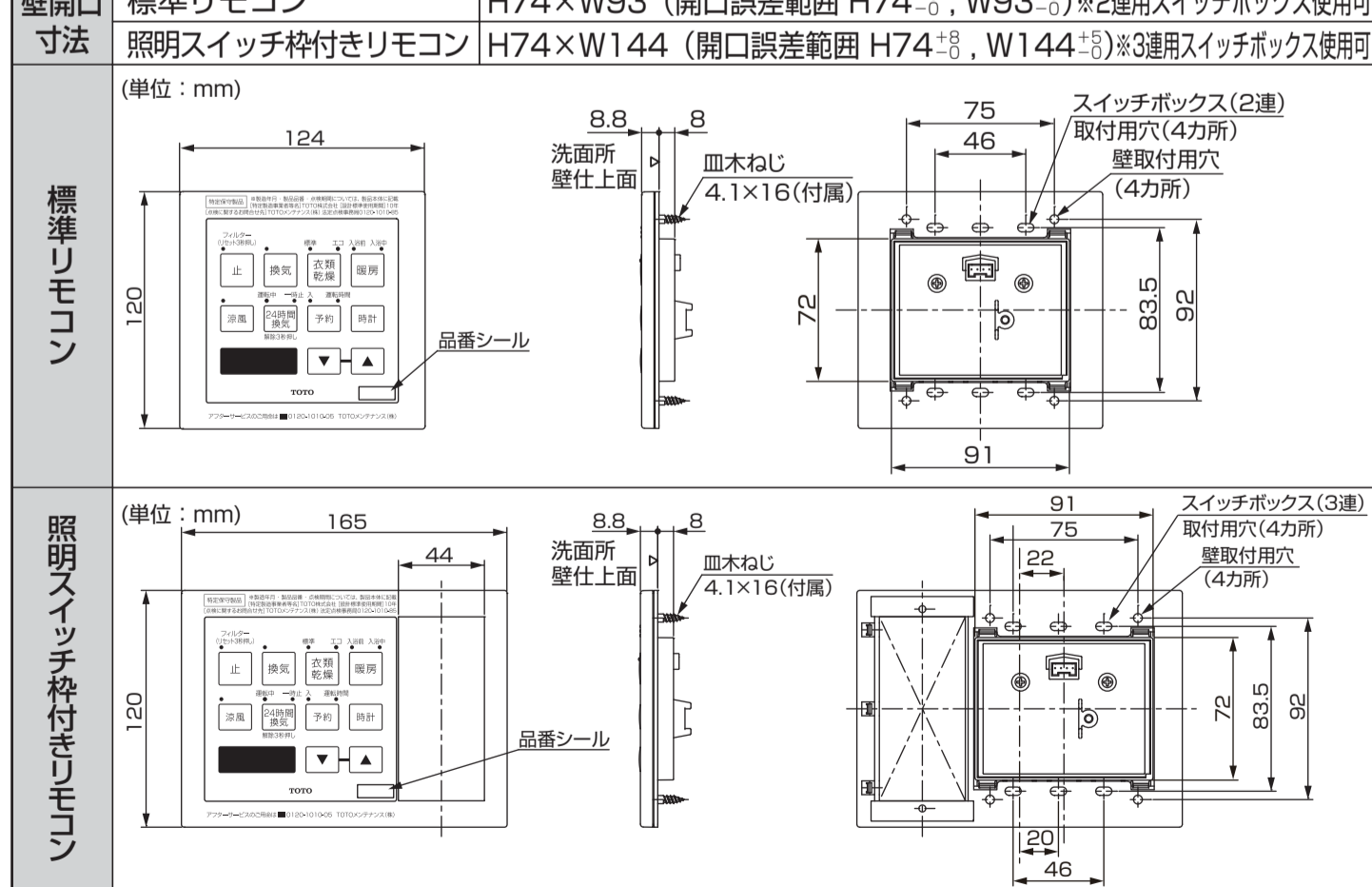
5 同梱部品の確認 (不足しているものがないか確認してください)

本体	グリル	取付枠	吸込口グリル
照明スイッチ付リモコン (GAタイプの場合)	標準リモコン (Gタイプの場合)	5m (1本) (換気ユニットに取り付けています)	φ4.1×16 (4本)
リモコン(クランプ・ねじ付き)	リモコンコード	本体取付ねじ・ワッシャー	取付枠直付用ねじ
リモコン裏面に取り付けています	5m (1本) (換気ユニットに取り付けています)	ステンレス製 φ4×40セルフドリリングねじ(6本)	ステンレス製 φ4×40セルフドリリングねじ(6本) ※天井りしない場合に使用
		換気ユニット	取扱い説明書 設置説明書(本書) 所有者票
		吸気ダクト接続口 (TYB212G型/TYB222G型...1個) (TYB213G型...2個)	吸気ダクト接続口 (TYB212G型/TYB222G型...1個) (TYB213G型...2個)
		逆流防止弁	逆流防止弁
		吸気シール	吸気シール
		排気ダクト接続口	排気ダクト接続口
		逆流防止弁	逆流防止弁
		排気シール	排気シール
		脚 (ねじ込まれています)	脚 (ねじ込まれています)
		換気ユニット	換気ユニット
		取扱い説明書	取扱い説明書
		設置説明書(本書)	設置説明書(本書)
		所有者票	所有者票
		使いかたフリップシート	使いかたフリップシート
		個人情報保護シール	個人情報保護シール

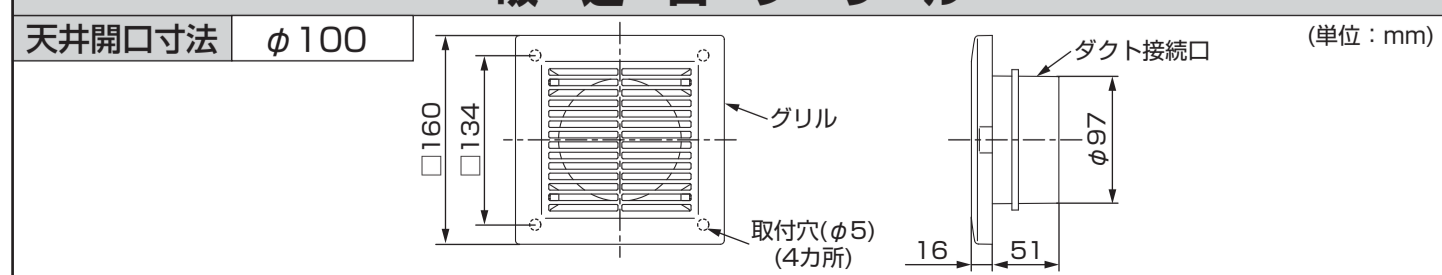
6 外形寸法



リモコン

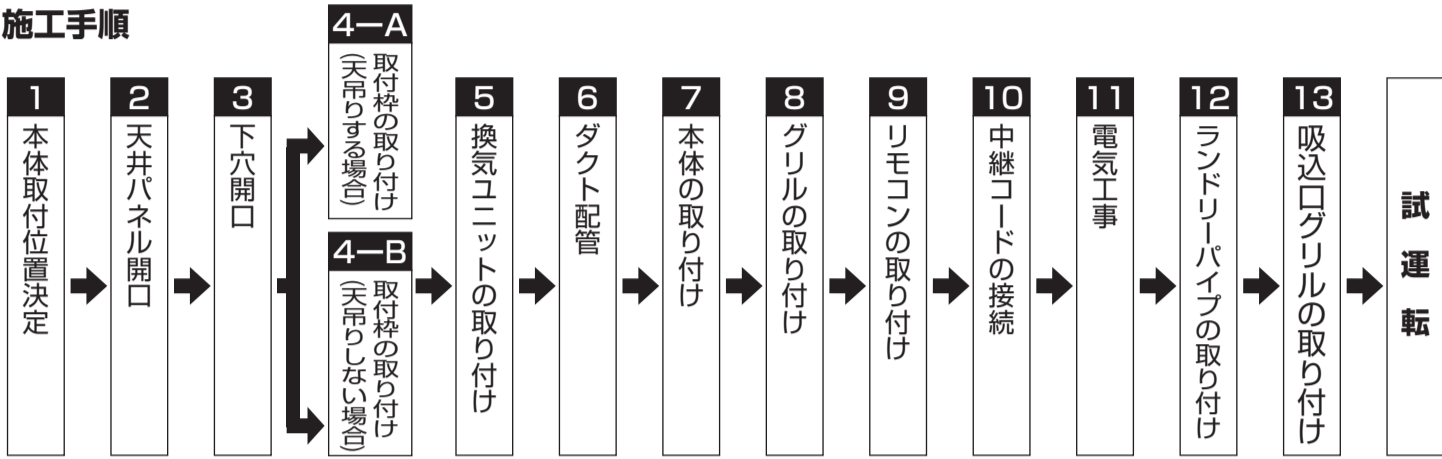


吸込口グリル



7 施工方法

お願い	耐熱温度が60℃未満の天井材・壁材を使用した浴室には取り付けしないでください。	温風によって変形・変色するおそれがあります。
	浴室扉のガラリなど空気取入口を設けてください。	換気・乾燥のときに性能が悪くなるおそれがあります。
	空気取入口が設置できない場合は、換気・乾燥のときに浴室のドアを少し開けてご使用頂きますと性能が確保できます。	
	本体の上に断熱材(グラスウールなど)をのせないでください。	本体からの放熱を妨げ、故障の原因になります。
	高温になる場所に取り付けしないでください。	故障のおそれがあります。
	製品を浴室以外の場所に取り付けしないでください。	故障のおそれがあります。
	傾斜またはアーチ天井に取り付けしないでください。	振動の発生や製品寿命の低下などのおそれがあります。
	本体が確認できる位置に必ず点検口を設けてください。	点検口がないと中継コードの接続ができないため、点検口が必要です。
	本体設置工事と電気工事が異なる作業区分の場合、設置説明書(本書)および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡ください。	
	浴室リモコン(別売品)を接続する場合は、浴室換気乾燥機設置の前に必ず浴室リモコン(別売品)専用の設置説明書をご覧ください。	
TYB212G型/ TYB213G型の電源は100Vを接続してください。	200Vを印加すると基板が破損します。 100V仕様製品への200V印加による故障は、有償修理となります。	
TYB222G型の電源は単相200Vを接続してください。	100Vを印加するとリモコンにエラー表示「E:20」が表示され動作しません。	



1. 本体取付位置決定(現場開口の場合)

(1) 右図の推奨位置を参考に本体取付位置を決める。

- 本体は、天井の水平面に、吹出口が洗い場側に向くように取り付けてください。
- 天井裏に梁などがある場合は、浴室換気乾燥機の位置を変えて設置してください。ただし、推奨位置に設置したときに比べて衣類乾燥時間が長くなったり、暖房性能が悪くなる場合があります。

(2) 本体取付位置が決まったら、ランドリーパイプの位置を確認する。照明や収納パネルが障害となる場合があります。

・当社ユニットバス設置の場合は、ユニットバス付属の組立要領書記載の所定位置に取り付ける。

・乾燥性能を優先する場合は本体取付位置を、ランドリーパイプ位置にあわせて変更してください。

・ランドリーパイプは、浴室の天井が高いときや照明などがあり、取り付けが悪い場合は、推奨位置より下方向へずらして取り付け。

ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

注意

- ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない。ランドリーパイプが過熱し、やけどのおそれがあります。

2. 天井パネル開口(現場開口の場合)

(1) 天井パネルの推奨位置に285×410の開口を行う。(開口誤差範囲 285⁺⁵×410⁺⁵)

(2) 天井材が化粧鋼板の場合、切口には防錆材を塗布する。

注意

- 天井組み立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどを残さないこと。さびなどの原因になります。

3. 下穴開口

(1) 本体取付用下穴(2カ所)を開ける。

取付枠を天井面にあて、下穴位置(2カ所)をけがいてください。

(2) 取付枠を直付けする場合は、取付枠取付用下穴(6カ所)を開ける。

取付枠を天井面にあて、下穴位置(6カ所)をけがいてください。

4-A. 取付枠の取り付け(天吊りする場合)

(1) 図の位置に吊りボルト(現場手配)を取り付ける。

- 天井開口の中心を基準に、吊りボルト(4カ所)を取り付ける。
- 吊りボルト(M10、または3/8インチ)は約100kgの荷重に耐えられるように施工してください。

(2) 天井開口部に取付枠を取り付ける。

※取付枠に洗い場側を示すラベルがありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。

(3) 取付枠のツメ(2カ所)を外側に曲げて天井に仮固定する。(天吊りする場合は、取付枠を天井材にねじ止めする必要はありません)

(4) 取付枠の(4カ所)に吊下げ用ハンガーを取り付ける。

4-A. 取付枠の取り付け(天吊りする場合)のつづき

(5) 吊りボルトに吊下げ用ハンガーを引っかけてナット(現場手配)で固定する。

取付枠と天井面が確実に密着するように吊り上げてください。

- 密着していない場合、グリルと天井面にすき間ができます。
- 取付枠が持ち上がりすぎると、天井が凸状に変形しグリルと天井面にすき間ができます。
- ※すき間ができた場合は、ナットの取り付け位置で調整してください。

4-B. 取付枠の取り付け(天吊りしない場合)

(1) 製品質量(TYB212G/213G型:13kg・TYB222G型:14kg)に耐えるように天井パネルを補強する。

取付補強材(別売品:TYK570型、またはTOTOシステムバス付属品)の使用をおすすめします。

取付補強材(別売品:TYK570型、またはTOTOシステムバス付属品)を使用する場合は、接着剤(現場手配)で天井裏に接着します。

※TYK570型を使用する場合は、付属の取付説明書をご確認ください。

注意

- 取付補強材は天井材を含めて50mm以内にする(推奨品TYK570型使用の場合は、天井厚さ30mmまでとなります)これを越えると換気ユニットが取り付けできません。
- 製品質量に耐えられるように天井裏を十分に補強する

(2) 取付枠を天井に仮固定し、付属のねじ(ステンレス製 φ4×40 セルフドリリングねじ)で6カ所を確実に固定する。

電動ドライバーを使用する場合は締付トルク3N・m以下のものを使用してください。

※取付枠に洗い場側を示すラベルがありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。

警告

- インパクトドライバーは絶対に使用しない。締め過ぎによる取付ねじの破損のおそれがあります。

5. 換気ユニットの取り付け

注意

- ダクト接続口の内部に手をいれないでください。逆流防止弁が外れたり、破損するおそれがあります。

(1) 排気方向を確認する。

右図のように排気方向を変更する場合、以下の「排気方向を変更する場合」の作業を行う。

排気方向を変更する場合

※工場出荷時から変更しない場合、この作業は不要です。

- ねじ(8カ所)を外して、換気ユニット側面板、電源端子台プレートを取り外す。
- 換気ユニット上面カバーを外す。
- 換気ユニット側面板、電源端子台プレートの位置を変更する。
- 換気ユニット側面板、電源端子台プレートを再取り付けする。
- 換気ユニット上面カバーを取り付ける。
- 換気ユニット側面板、電源端子台プレートをねじ(8カ所)で取り付ける。

注意

- 交換するときに、換気モーター線を断線しないよう注意する。

(2) 吸気ダクト接続口、ふさぎ板の付け替えを行う。 ※工場出荷時から変更しない場合、この作業は不要です。

① 吸気ダクト接続口を下図の吸気A,B,Cから配管しやすい方向を選択する。(TYB212G型/ TYB222G型は吸気A,Cから配管しやすい1方向、TYB213G型は吸気A,Bまたは吸気B,Cから配管しやすい2方向)

工場出荷時

左排気の場合: 吸気C → 排気 ← 吸気B, 吸気A

右排気の場合: 吸気A → 排気 ← 吸気B, 吸気C

(3) 脚の長さ、位置を調節する。 ※工場出荷時、脚はねじ込まれていません。

・換気ユニット底部の脚を回転させ、取付枠に取り付けた際、換気ユニットが水平になる様に脚の長さを調節します。

・脚が天井の梁やつなぎ目に干渉する場合は、右図の2カ所のいずれかに位置を変更してください。

※>天井厚さ10mmの場合は、脚の長さを40mm程度に調節してください。

注意

- 位置を変更したあとは、変更位置についていたボルトで変更前の穴をふさいでください。
- 水平になっていないと本体と接続できません。

(4) 換気ユニットを取り付ける。

- 天井開口または点検口より換気ユニットを天井裏へ上げる。
- 取付枠ツメ部に換気ユニットのツメ部取付穴に差し込む。
- 換気ユニットがしっかりとまわっていることを確認し、換気ユニット取付ねじ(φ4×8、1本)で固定する。

しっかりとまわっていることを確認

6. ダクト配管

(1) ダクト接続の前に、排気および吸気ダクト内部に異物がないかを確認する。
 ※風量低下や異常音発生の原因になります。

(2) アルミフレキ管などのダクトを接続し、アルミテープで風漏れのないようにする。(呼び径φ100)
 ※排気、洗面所吸気、トイレ吸気の配管を間違わないように配管してください。
 ※排気ダクト接続長さは、目安として直管20m相当以内にしてください。

ねじ止めはしない
故障のおそれがあります。

注意

- 配管時にダクトに力がかからないようする
- 排気ダクト接続口は屋外に向けて1/100以上の傾斜をつける
- 結露水が逆流するおそれがあります。
- 配管は天井裏のスラブより吊るし、機器本体に力がかからないようにする
- 次のようなダクト設置はしない

- ・極端な曲げ
- ・多数の曲げ (曲げ数が多くなれば風量が低下します。)
- ・排気口のすぐそばでの曲げ (200mm以下)
- ・接続ダクト径を極端に小さくする(しぼり)

7. 本体の取り付け

(1) 換気ユニットが倒れていないか、確認する。
 ・換気ユニットは、倒れないように脚を調節する
 特に外側に倒れている場合は、本体との接続が不完全になることがあります。

(2) 本体取り付け前に、
 ・取付枠の仮固定金具の向きを右図のようにあわせる。
 ・本体落下防止金具が右図の位置にあることを確認する。

(3) 本体を挿入し、仮固定金具を回して仮止める。
注意
 ・仮固定金具の向きをあわせ、本体を奥まで入れる
 無理に本体を入れると仮固定金具が変形することがあります。

・コードの挟み込みに注意しながら天井の水平面に挿入する
 ・本体の向きに注意

警告
 ・仮止めは一時的な固定なので、このままの状態では落下するおそれがあります。
 ねじ止めて確実に取り付けてください。

(4) 換気ユニットと本体が確実に接続されていることを点検口から見て確認する。

(5) 本体をワッシャー(6枚)、本体取付ねじ(φ4×40、6本)で固定する。
警告
 ・インパクトドライバーは絶対に使用しない
 締め過ぎにより取付ねじの破損のおそれがあります。
 電動ドライバーを使用する場合は締めトルク3N・m以下のものを使用してください。
 ・取付ねじは最後まで締め込む
 本体が落下する危険性があります。

(6) 本体落下防止金具を右図のように押し込み、本体落下防止金具取付ねじを締める。
 本体落下防止金具を押し込まないと、グリルが取り付けできません。

重要
本体落下防止金具

8. グリルの取り付け

(1) グリルから表面パネルを取り外す。
 ※表面パネルを取り付けたまま作業すると、グリルまたは表面パネルが破損します。

①A部を押し、表面パネルを開く。

②表面パネルを上方向に押し、奥にずらすと表面パネルが外れます。
 ※落下防止チェーンは取り外さなくても作業できます。

(2) グリルを本体に取り付ける。
 ①本体落下防止金具が押し込まれていることを確認する。
 ※本体落下防止金具が押し込まれていないとグリルが取り付けできません。

②図の位置に、グリルの落下防止フックを差し込む。

③グリル裏側のフック(2カ所)を本体に差し込み、右図の印部2カ所を押さえて仮固定する。
 グリルコーナー部(4カ所)をグリル取付ねじ(M5×10)でねじ止めて本固定する。
 ※ねじはグリルに取り付けています。

④グリルキャップ(2カ所)を取り付ける。

注意
 ・グリルの取り付けは必ず手締めで行う
 電動ドライバーなどで強く締め付けるとグリルが破損するおそれがあります。

(3) グリルに表面パネルを取り付ける。
 ※落下防止チェーンを取り外したときは取り付ける。

①グリルの軸部に表面パネルの左右の溝を差し込みます。

②手前に表面パネルをスライドさせて、下方向に引くと固定されます。

③表面パネルを閉める。

9. リモコン(洗面所用)の取り付け

浴室リモコン(別売品)を取り付ける場合

本体から出ているリモコン中継コードに、浴室リモコンコードセット(浴室リモコン付属品)を接続し、浴室リモコンと洗面所用リモコンを取り付ける。

【システム図】
 洗面所用リモコンコード、洗面所用リモコン、浴室リモコン(別売品)、リモコン中継コード、浴室リモコンコードセット(浴室リモコン付属品)、浴室リモコン(別売品)、洗面所用リモコンコード

(1) リモコンからフレームを取り外す。
 ・リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線する。
 ※リモコンコードを配管に通すときは、φ15以上の配管に通してください。

・リモコンコードは本体から5mです。
 リモコンコードが届く範囲にリモコンを取り付けてください。

(2) リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線する。
 ※リモコンコードを配管に通すときは、φ15以上の配管に通してください。

(3) 壁に開口を行う。
 ・標準タイプリモコンの場合:
 壁開口寸法... H74×W93 (開口誤差範囲H74⁺⁸、W93⁺⁵)
 ※2連用スイッチボックス(JIS C 8336)も利用できます。
 ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

・照明スイッチ枠付リモコンの場合:
 壁開口寸法... H74×W144 (開口誤差範囲H74⁺⁸、W144⁺⁵)
 ※3連用スイッチボックス(JIS C 8336)も利用できます。
 ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

(4) フレームにリモコンコードを通し、フレームをリモコン取付ねじ(φ4.1×16、4カ所)で壁に固定する。
 ※フレームの上下方向を確認してください。

(5) リモコンのコネクターにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定する。

(6) リモコンを「カチッ」と音がするまでフレームに取り付ける。

照明スイッチ(現場手配)は下記のスイッチをおすすめします。
 他メーカーのスイッチは取り付けられないことがあります。

メーカー名	品番・名称
パナソニック製	コスモシリーズワイド21 例) WT5051(埋込タイプのスイッチ)+WT3700(取付枠)+WT3031W(ハンドル)
東芝ライテック製	WIDEシリーズ 例) WDC32014 (オプティクススイッチ+スイッチカバー+ワンタッチサポート組成品)

注意
 ・リモコンを確実に取り付けると、動作不良の原因になります。
 ・リモコンの取り付けは必ず手締めで行うこと
 電動ドライバーなどで強く締め付けると、リモコンが破損するおそれがあります。
 ・リモコンは、浴室には取り付けない 故障の原因になります。
 ・リモコンコードの断線に注意する
 ・浴室リモコン(別売品)の場合は、リモコンコードの接続方法が異なります。
 詳しくは浴室リモコン(別売品)の設置説明書をご覧ください。
 ・リモコン裏に付いているねじは外さない

重要
 ・スイッチボックスに取り付ける場合は、ねじを締めすぎない
 フレームが変形してリモコンがうまく入らなくなるおそれがあります。

10. 中継コードの接続

(1) 端子台カバーを開く。
 (2) 本体から出ている中継コード6カ所を接続する。
 (3) 各中継コードをクランプ(2カ所)で固定する。
 ・中継コードは、コネクターより下になるようにねじの下側で固定する。
 ・モーター中継コード
 ・端子台温度ヒューズ
 ・中継コード(コネクター:2個)
 ・2口端子台中継コード

警告
 ・電源中継コード(棒端子)は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
 差し込みが不十分だと火災のおそれがあります。

電源端子台へ電源コードおよびアース線を接続する。
注意
 ・TYB212G/213G型の電源は100Vを接続する 200Vを印加すると基板が破損します。

警告
 ・電源コード(VVFケーブル)と中継コード(棒端子)は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
 差し込みが不十分だと火災のおそれがあります。また、端子台内部の発熱により端子台が故障し、「E16」エラーとなる場合があります。その場合は端子台コネクター(青色)の導通を確認し、断線していれば端子台の交換が必要になります。
 ・電源コードはφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用する。より線は使用しない。
 ・専用の遮断器(20A)を取り付けてください。また漏電遮断器を取り付けてください。
 ・専用の漏電遮断器を取り付ける場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのものをおすすめします。
 ・電源コード(VVFケーブルφ2mm)は、点検が行えるように、本体取付位置より3mほどゆとりをもたせて配線してください。(電源コードを束ねたまま配線しない。)
 ・アースはD種接地工事を行ってください。

重要 電源端子台への接続について

各々の芯線が真っすぐ15mm出ている状態で加工のうえで、端子穴に芯線を「グツ」と奥まで確実に差し込む。

確実に差し込む

電源コードの芯線2本が均一に端子台に芯線を奥まで真っすぐ挿入するように加工してください。

端子台の近くに大きく曲げない。端子台の近くに大きく曲げない場合がある。

電源コードを外すときは、ここを電工マイナスドライバーで強く押してください。

端面を揃える

接続後、電源コードの芯線が左図のように差し込まれていることを再度、目視で確認する

照明やPL(パイロットランプ)を接続する場合は②部記載の位置に接続してください。

11. 電気工事

(1) 電源端子台へ電源コードおよびアース線を接続する。

重要 電源端子台への接続について

各々の芯線が真っすぐ15mm出ている状態で加工のうえで、端子穴に芯線を「グツ」と奥まで確実に差し込む。

確実に差し込む

電源コードの芯線2本が均一に端子台に芯線を奥まで真っすぐ挿入するように加工してください。

端子台の近くに大きく曲げない。端子台の近くに大きく曲げない場合がある。

電源コードを外すときは、ここを電工マイナスドライバーで強く押してください。

端面を揃える

接続後、電源コードの芯線が左図のように差し込まれていることを再度、目視で確認する

照明やPL(パイロットランプ)を接続する場合は②部記載の位置に接続してください。

